

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	1RF-2201
研究課題名	閉鎖性水域における水環境デジタルツインの実現:生態系モデルのデータ同化手法の確立と水質長期再解析データベースの開発
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	海上・港湾・航空技術研究所
研究代表者名	松崎義孝

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

沿岸水域の環境変動を科学的に解明する基盤を整備し、赤潮や貧酸素への対応策検討を支えるとともに、長期データに基づく将来予測や効果検証に資する点で大きな意義がある。また、成果は水温の再現性向上は今後の温暖化による影響評価につなげられることが期待できる。さらに、観測とシミュレーションを融合したデジタルツインの構築に新たな道を開いたという点も評価できる。とはいえ、重要な生物系パラメータであるクロロフィル a の値や数値シミュレーションの精度向上について課題が残されており、本研究で開発したモデルが、生態系全体を評価の評価にどのようにつながるのか明らかにするための努力を続けてほしい。